

認知症診療の新時代

— 抗体医療・早期診断・臨床対応の最前線 —

日時 2026年

7月2日 木 13:30 - 16:15

オンライン開催



プログラム

13:30-13:35 開会あいさつ・活動報告 埼玉大学大学院理工学研究科 教授 松岡 浩司

13:35-14:25 認知症におけるBPSD（認知症の行動・心理症状）に関して

認知症におけるBPSD（behavior and psychological symptoms of dementia）とは、認知症の行動・心理症状である。精神科医の立場から、臨床現場の経験をもとに、BPSDの要因や対応に関して述べる。

埼玉医科大学病院 神経精神科・心療内科 准教授
新井 久稔氏

< 休憩 >

14:30-15:20 抗アミロイド抗体時代におけるアルツハイマー病診療の展望

アルツハイマー病（AD）は、抗アミロイドβ抗体薬の導入により、診断・治療の新たな時代を迎えている。抗体療法の普及には、早期ADを簡便かつ高精度に診断する体制の確立が不可欠である。本講演では、当院の実臨床データを示し、血液バイオマーカーを基盤としたAD早期診断と先制医療の展望を論じる。

慶應義塾大学医学部 神経内科 特任教授
慶應義塾大学病院 メモリークリニック センター長
伊東 大介氏

< 休憩 >

15:25-16:15 アルツハイマー型認知症に係るアミロイドβの凝集依存的な抗体反応性の変化：次世代創薬・診断への展開

アミロイドβは凝集形態によって抗体反応性が大きく変化する。抗体反応性を最適化する技術により、アルツハイマー型認知症の早期診断技術及び認知症抗体医薬の治療効率の最大化を展望する。

日本大学生産工学部応用分子化学科 教授
吉宗 一晃氏



申込方法：右記2次元コードもしくは下記URLよりお申込みください 締切：7月2日(木)12時まで
<https://us02web.zoom.us/meeting/register/p0hrm5ZtQ9C5mGU5Z5YJNg>

問合せ先：埼玉大学先端産業国際ラボラトリー
TEL▶048-858-3962 E-mail▶miu@gr.saitama-u.ac.jp



お申込みは
◀こちらから